

# Satellite Square

## 「Horizons-3e」 「IFA2018」 「IBC2018」 「4K8K」

神谷 直亮

今月は、オムニバス風に興味深いいろいろな話題を取り上げてみたい。

まず、衛星の話題を一つ。スカパーJSATが、9月26日に久しぶりとなる1機の衛星を打ち上げた。衛星名は「Horizons-3e」で、インテルサットと同社の共同衛星の3機目だ。この衛星の特色は、ハイスループットサテライト (HTS) と呼ばれる大容量高速通信を実現する衛星で、太平洋を横断する旅客機や船舶に掛け替えないサービスを提供できる。アメリカでは、バイアサット (Viasat) とジュピター (Jupiter) と名付けられた2種のHTSがすでに稼働しており珍しくはないが、日本にとっては初だ。

次いで、ヨーロッパで4K8Kの話題が浮上している。意外だったのは、8月31日から9月3日までドイツのベルリンで開催された「IFA2018 (欧州家電見本市)」で、韓国のLG電子とサムスン電子が揃って8Kテレビを公開した。LG電子が出展したのは、88インチ8K OLED TVで、サムスン電子が紹介したのは、85インチ8K QLED TVだ。LG電子は、発売予定について口を閉ざしているが、サムスン電子は、10月から11月にかけて発売すると宣言した。このサムスン電子のテレビについて専門家は、「HDR10+に準拠し、輝度4000nitsの8Kテレビ」とPRに一役

買っている。課題は、価格が未発表なのと、ヨーロッパではまだ8Kコンテンツが見当たらないことだ。

その後9月13日から18日まで、オランダのアムステルダムで開催された「IBC2018 (国際放送機器展示会)」では、欧州放送連合 (EBU) とSESが4K Ultra HD (UHD) のデモで注目を集めた。今回、EBUは、メンバーのBBC、RAI、IRT、フランスTV、ZDFの5局と組んで「ヨーロッパ陸上競技選手権大会2018」(8月2日~12日、ベルリンで開催) で実施した2種のトライアルの詳細を公開した。1種は、4K UHD、High Dynamic Range (HDR)、High Frame Rate (HFR)、Next Generation Audio (NGA) によるデモで、もう1種は、2K HDにダウンコンバートしてHDR、HFR、NGAを実現したものである。HDRはHybrid Log Gamma、HFRは100fps、NGAはAC-4 & MPEG-Hだ。なお、このトライアルには、ATEME、ドルビー、Ericson、LG電子、ソニー、NTTエレクトロニクスなどが協力している。

SESは、同社の衛星を使ってCanal+向けに配信したフランスの「リーグ・アン (Ligue 1)」の試合を4K UHDで上映して注目を集めた。やはり4Kは、スポーツ番組、特にサッカーの試合が決め手と見ているようだ。なお、SESは、同社が提供する

4K番組を「Ultra Vibrant」と呼んで「Ultra HD」より優れていることを強調していた。

4Kに関しては、ヨーロッパ以外でもニュースが飛び交っている。4Kテレビの売り上げが伸びているという中国では、チャイナ・メディア・グループ (CMG) が12月2日から「CCTV 4K Ultra HDチャンネル」の配信を開始する。ドラマ、ドキュメンタリー、スポーツ、音楽イベントなどの4K番組を、とりあえず北京、上海、広東などの大手CATV局の再放送用に提供する。チャイナ・テレコムが、2014年末からIPTVで4K放送を始めており、CMGと大手CATV局もいよいよ本格的な対応を始めたと言える。CMGの地上波4K放送の動向が気になるが、2019年の中国建国70周年記念を契機に開始することになりそうだ。

マレーシアでは、同国唯一の衛星放送事業者として知られるアストロが、8月から国内向け初の4K衛星放送を実施している。番組の第一弾は、イングランド・プレミアリーグのサッカーの試合で、やはりスポーツ番組を中心に編成する方針のようだ。

オーストラリアでは、Foxtelが11月4日からOptus衛星を使って「オーストラリア・クリケット4Kチャンネル」を開局するとの発表を行った。開局記念番組は、パースのOptusスタジアムで行われるODI対南アフリカの試合の予定だ。目玉番組は、やはりクリケットを始めとするスポーツ・イベントのライブ中継で、並行して映画やドキュメンタリー番組も提供すると意気込んでいる。

技術的には、ハーモニックのSoftware-Defined UHD Solutionが使われる。

日本では、ピクセルの4Kスマートチューナーとアイ・オー・データ機器 (IOデータ) の4Kディスプレイが話題になっている。



写真1 スカパーJSATは、9月26日に「Horizons-3e」衛星を打ち上げてHTSビジネスに進出することになった。(写真提供: ポーイング社)



写真2 「IBC2018」でEBUは、「ヨーロッパ陸上競技選手権大会2018」の4K UHD、HDR、HFR、NGAフォーマットの映像を公開して注目を集めた。



写真3 ピクセラは、先陣を切って10月5日から新4K衛星放送を受信できるスマートチューナーの出荷を開始した。



写真4 IO データは、間もなく販売予定の65インチ大型4Kディスプレイを参考出展して来場者の関心と呼んだ。



写真5 NHKメディアパークのスーパーハイビジョンシアターでは、シャープの70インチ8Kテレビで撮りためた多彩なコンテンツが紹介されていた。

「デジタル機器を通じて新しい生活を提案していく」をスローガンに掲げるピクセラは、9月12日から新4K衛星放送に対応したスマートチューナー「PIX-SMB400」の予約販売を開始した。出荷は10月5日で、価格は29,800円と発表した。同社は、これを記念して9月15日に二子玉川（東京・世田谷区）のガレリア特設会場で予約受付キャンペーンを行った。会場では、4Kスマートチューナーと同社製43インチ4Kモニターを使った再生デモが行われ、受信を体験できるタッチ＆トライコーナーも設けられていた。広報担当者は、「BSに関しては、右旋はもちろんのこと左旋も8K以外すべてのチャンネルの視聴が可能。110度CSは、右旋も左旋も4K番組をすべてカバーしている」と語っていた。さらに、「Android TVを搭載しており、NetflixやYouTubeの4Kコンテンツも楽しめる。話しかけるだけでサポートが得られるGoogle Assist機能もある」と付け加えていた。Netflixについては、リモコンに専用ボタンがついており簡単に呼び出せるようになっており「ピクセラのチューナーを契約すれば3か月無料で視聴ができる」とPRに余念がなかった。

IOデータが同社の4Kディスプレイを売り込んだのは、意外にも「東京ゲームショー2018」の会場であった。ブースには、すでに販売しているという55インチ、49インチ、43インチ、27インチに加えて、間もなく販売を予定しているという65インチの大型4Kディスプレイが並んでいた。いずれもADSパネルを採用しており、HDMI x 3対応になっている。ブースでは、展示会の主旨を反映して、「親画面で高精細映像によるゲームを楽しみながら、子画面を使ってウェブ閲覧やメールの確認ができる」と売り込んでいた。

ピクセラとIOデータに刺激されて、10

月7日にビックカメラ赤坂店とLABI渋谷店で4K8Kの現状をチェックしてみた。

ビックカメラ赤坂店では、すでにピクセラの「4K Smart Tuner」が売られていた。10月5日から29,780円（税抜）で販売を開始したという。他のメーカーの動向を問い合わせてみると「東芝は、4Kチューナー内蔵のテレビをすでに6月から発売している。次の内蔵テレビの発売元としては、三菱電機が予定されており、9月14日から予約を受け付けている。出荷は、10月18日から開始される。4Kチューナーに関しては、パナソニックが10月末、東芝が11月中旬、シャープが11月末から出荷を開始する予定で、パナソニック製品は32,880円、東芝は37,880円、シャープは31,880円の価格が付いていた。ソニーは発売日を公表していないが、4Kダブルチューナー付きの製品を54,880円で予約受付を始めている」との説明であった。

なお、LABI渋谷店では、ピクセラの4Kチューナーは販売しておらず、代わりにFunaiの4Kチューナーはどうかと勧められた。他のメーカーの動向は、ビックカメラとほぼ同じであった。


8Kテレビを売りに出しているのは、まだシャープのみである。両店ともに70インチを店頭に並べていたが、12月1日から始まるNHKの8Kチャンネルの受信には対応していない。（その後10月15日にシャープは、チューナー内蔵8Kテレビを11月17日に発売すると発表した）

コンテンツが気になったので、

NHKに行った帰りにメディアパークを覗いて見たら、2カ所で8Kスーパーハイビジョンの上映が行われていた。ロビーのマルチチャンネル大スクリーンでは、「紅白歌合戦2017ダイジェスト」「奇跡の山寺 室生寺編」「ルーブル 時を超える美」「8Kで遊ぼう！どーもくんをさがせ」「ダイーン・フジオカ DoReMi」が上映され、「8Kテレビを我が家に」とアピールしていた。印象的だったのは、子供にもスーパーハイビジョンの魅力を知ってもらおうという涙ぐましい努力をしていた。

もう一カ所、スーパーハイビジョンシアターには、シャープの85インチと70インチ8Kテレビがそれぞれ1台設置されており、「美ら海散歩」「青森ぬぶた祭2015」「リオのカーニバル2013」「京都秋のいろ」など、NHKがかねてから撮りためてきた少々古いコンテンツが再生されていた。

Naoakira Kamiya  
衛星システム総研 代表  
メディア・ジャーナリスト




**緊急報道  
ハイビジョン映像伝送  
Ku-band/X-band**

**CCTスーツケース 90cmφ型 2タイプ有り  
120cmφ型**

**衛星通信用超小型可搬アンテナ**

Suitcase CCT Satellite Communications Terminal



5分で運用開始

IATA対応収納ケース  
その他にも1ケース収納型から3ケース分割型など各種ケースあり

**エーティコミュニケーションズ株式会社**

<http://www.bizsat.jp> TEL : 03-5772-9125

